NIE実践報告

1．タイトル：　新聞を活用することで　読み取る力　考える力　書く力を鍛えていく

2．学校名

兵庫県豊岡市立中筋小学校

3．実践者名（代表者名）

清水　肇

4．学年

第3学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

社会　15人

6．単元（本時の学習課題）名

野菜や果物や魚などの産地を調べてみよう

7．目標(狙い)

スーパーのチラシから野菜などの産地調べを行い、他地域との結びつきに気づくことができる。

8．評価の視点

チラシを使って、産地調べを行うことにより、自分たちの食生活が他地域と関わっていることに気づくことができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「
ｸﾗｼ

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

3年の社会科学習活動
①本時のめあてを知る
②スーパーに並んでいる野菜等がどこから来ているのかを予想し発表する
③チラシを見て、野菜等の産地を調べ、白地図に色を塗る。気づきも書く
（児童に事前にチラシを準備させ、調べさせる）
④調べて気づいたことを発表させ、学習のまとめをする

11．児童・生徒の反応、感想・意見

チラシを使うことで、児童は意欲的に取り組み、多くの情報を得ることができた。
食べ物が遠い地方や外国から来ていることに気づき、驚いていた。

12．成果と課題

(成果)チラシを使った授業は児童にとって、とても新鮮な学習教材となった。知的好奇心が高まり、意欲的な学習活動ができた。チラシの活用と併せて、地球儀・日本地図等を用意することにより、学習のめあてをより豊かに学ぶことができた。児童が新聞・チラシ等に親しみ、情報をスクラップしたり、記事を見ながら、対話する姿も見られるようになった。(課題)教科のねらいをはずさず、NIEを積極的に取り入れていくことが今後の課題である。発達段階に応じた新聞の多様な活用法の研修や新聞が活きる単元を見極めが重要となる。NIEで育成する力を焦点化・明確化することが大前提である。